

議 平生町 議会だより

第 102 号

2007年1月26日

発行 平生町議会
〒742-1195
山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1
TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109
発行責任者 平岡正一
編集 議会広報広聴調査特別委員会



元気いっぱい火の用心（1月4日出初式）

12月
議会報告
いっぱい質問

町長所信表明	2ページ
18年度補正予算、議員提案	3ページ
委員会報告	4ページ
臨時議会、議会決議	5ページ
いっぱい質問	6ページ
研修報告	10ページ

中期財政見通し

平成19年度財源不足 3億3000万円

平成18年第6回平生町議会定例会が、12月15日から22日までの8日間の日程で開かれました。今議会は、山田町長3期目の初議会で向こう4年間の所信表明を行いました。

上程された議案は、町長提案の補正予算10件、条例6件、事件5件と、議員提案の条例2件、規則1件、決議案1件計25議案です。いずれの議案も全会一致または賛成多数で承認しました。

一般質問では4人の議員が登壇し、町政の諸課題の取組みについて質問しました。

町長は、向こう4年間の町政に対し、所信表明を行ない、次のように述べました。

選挙公約であった、「安全、安心、元気なまちづくり」をテーマに、町民の安全と安心を確保していきます。

少子高齢化の中、子どもが夢を持ち将来に向けて羽ばたける環境づくりの整備が優先されると認識しています。

そのためには、行財政基盤の確立は喫緊の課題であり、第4次行政改革大綱や集中改革プランに示した21年度までの向こう3カ年でその成果があるよう、真摯に取り組みをしていく覚悟です。

市町合併においては、合併新法の期限である、同じ21年度までに方向付

けをすることが与えられた課題であると認識しています。当面は熊毛郡3町の共同歩調の礎を構築し、この地域の大同団結に向けて精力的に推進したいと思います。

懸案の財政問題については、国の財政対策の激変により、地方の自治体は苦しい状況が続いていますが、協働のまちづくりをテーマに町民に理解をいただいで、痛みを分かち合いながら進めていきます。緊縮財政を進めたことで、普通会計における起債残高は一時期のピークを乗り越え、横ばいで推移するところまで落ちてきました。

しかしながら、下水道会計など特別会計においては、残念ながら事業の進捗を促すためには起債

も必要であり、一般会計は減少しても、特別会計は膨らんでいるのが実態です。これに併せて、一部事務組合での起債償還も実質公債費比率に反映

されることになり、現在18%以下ではありませんが、ポーターラインぎりぎりの状況下にあります。

中期財政見通しで示している財源不足額は、平成19年度が3億3000万円、20年度が4億5000万円、21年度が6億円というものです。

この積算のベースは、歳入にあつては堅実型を基本に厳しく見直し、歳出は現状の行政サービス水準を維持するものと仮定しています。集中改革プランによる歳出の削減要素は含まれていませんが、歳入という枠の中で

の優先順位をつけ、行政サービスの縮減や廃止など、取捨選択の中で運営していきます。

厳しい状況からはなかなか好転の兆しは見えませんが、本町の活性化の取り組みに遅れがあつてはいけない、頑張る地方を支援する上でも、風力発電の増設計画に基づく観光面の充実や自主財源の確保、海王丸で全国発

信できた阿多田半島の国有地の活用、旧ゴルフ場跡地への民間活力の導入など、実現させなければならぬプロジェクトがいよいよ大詰を迎えています。これらが優先課題であると認識しており、町民の方がたの理解や協力を得ながら、より良い平生町の創造を目指す決意です。



所信表明する町長



一般会計5372万円を 増額補正

平成18年度補正予算

平成18年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ5372万円を増額し、予算総額は46億3300万円となります。

主な歳出

- ▽敬老会行事・委託料 156万円減額
- ▽県後期高齢者医療広域連合設立負担金 119万円増額
- ▽法人保育園委託料 860万円増額

- ▽アスベスト処理対策事業補助金 200万円増額
- ▽広域消防組合負担金 2668万円増額

特別会計では5325万円を増額し、予算総額は50億3218万円となります。

主な歳入

- ▽国保・出産育児一時金 170万円増額

- ▽国保・人間ドック補助金 57万円増額
- ▽佐合島渡船・共同運航事業負担金 138万円増額
- ▽老人医療・医療給付費 5465万円増額
- ▽下水道・職員人件費 901万円減額
- ▽下水道・流域下水道事業維持管理負担金 570万円増額
- ▽介護保険・職員人件費 140万円減額

議員定数 16から14 14から12へ 議員提案

議会最終日、議員提案として、議員定数を削減する動議が出されました。これは、平生町議会議員の定数は、地方自治法第91条第1項の規定により、条例において、次の選挙から14名と定めていますが、本議案については、次の一般選挙から14名をさらに2名減じて12名とするものです。

この議案に対し、現在議会の中には、議会改革調査特別委員会があり、その中で議会改革について継続的に審議をしている、民主的なルールの中からみると動議ではなく、委員会ですっかり論議をするべきではないかという質問がありました。その後、採決に入り賛成多数で可決されました。

委員会審査報告

総務文教常任委員会

12月19日に開かれ、付託議案は全会一致または賛成多数で承認されました。

補正予算

質 柳井地域広域水道企業団出資金元利補助の減額理由は、

答 公営企業債の借換で償還金の変更によるもの。

質 アスベスト処理対策事業の対象は、

答 JA南すおう平生支所。就学援助費増加の理由は何か。

答 対象者を46人と見込んでいたが、12月現在で55人に増加したため。

条例

質 手数料徴収条例の改正にあたっては、世情を考慮し改定の理由を明確にすること、また、町民の負担軽減やサービスの安定向上といったまちづくりの基本方向との整合を充分図りたい。

答 将来展望を含め、近隣自治体と足並みをそろえるためである。少子化対策による保育料軽減など町民負担にもめりはりをつけながら行政改革大綱に基づき進めていく。



アスベスト対策事業を実施するJA南すおう平生支所

産業厚生常任委員会

補正予算

12月20日に開かれ、付託議案はすべて全会一致で承認されました。

質 後期高齢者医療広域連合負担金に補助制度はあるか、また、今後の負担はどのようになるか。

答 補助制度については現状では未確定。19年度負担金は400万円程度となる。

質 町内農業者で国営土地改良事業に参入する人がいるか。

答 国営ほ場整備の実施について関係者と折衝中

事件

質 大野の簡易水道は田布施・平生水道企業団に引き取ってもらえないか。
答 水道議会でも協議しており、将来的には引き取ってもらう方向で検討している。
質 出産育児一時金と人間ドック補助の補正内容は。
答 出産育児金は15件から20件、人間ドック補助は140人を159人と見込み直したものである。

質 後期高齢者医療広域連合創設のメリット、デメリットは何か。
答 メリットは保険料の平準化を図るなど高齢者医療制度が時代に即した持続可能となる。デメリットは被用者保険の被扶養者に対し、新たな保険料負担が生じる。

質 尾国の埋立地部分の道路はいつ開通するか。
答 事業年度は全体計画で平成26年度である。



乳幼児救急救命受講風景

三新化学工業株式会社平生工場における 事故再発防止の徹底を求める決議

三新化学工業株式会社平生工場において、平成15年に連続発生した人身事故を含む火災事故は、地域住民の暮らしに不安を与え、その不安が消えない中、本年11月24日、12月18日と連続発生した硫黄添加剤製造プラント火災は、近接する本町住民の三新化学工業株式会社平生工場に対する不信感を増幅するものであり、住民の健康にも悪影響を及ぼしかねない、非常に遺憾な事象である。

現在、山口県、平生警察署、柳井地区広域消防組合において、現地での立ち入り調査が実施され、徹底した原因究明が行われるとともに、三新化学工業株式会社平生工場の本町住民に対する説明、また情報提供等、真摯な対応を望むものである。

また、企業の社会的責任を自覚し、地域住民の信頼を踏みにじらないよう、社員一人ひとりへの安全教育の徹底と、再発防止に向けた取り組みを早期に実施し、二度とこのような不祥事が起こらないよう、万全の方策を講じられることを強く要望する。

以上、決議する。

平成18年12月22日

山口県平生町議会

本議会は、三新化学工業株式会社のため重なる事故に対し、再発防止を求める決議をしました。

**三新化学工業株式会社 平生工場における
事故再発防止の徹底を求める決議**



田村伸夫さん

教育委員会委員再任に同意

平成18年10月31日をもって任期満了となる教育委員会委員、田村伸夫さんの再任に同意しました。
任期は平成22年10月31日までです。4年間の経験を生かされて平生町の教育行政に取組まれることを期待します。



中嶋一成さん

監査委員選任に同意

平成18年10月15日をもって勇退される、河本栄治さんに代わり、代表監査委員として中嶋一成さんの選任に同意しました。
任期は平成22年10月15日までです。平成17年から人権擁護委員としても活躍されており、今後の活躍が期待されます。

臨時議会

平成18年第5回平生町議会臨時議会が10月23日に開かれました。提出議案は、補正予算1件、同意2件です。
補正予算は、下水道事業会計の平成17年度分の消費税確定に伴う公課費の計上です。
同意については、監査委員の選任、教育委員会委員の任命です。



細田留美子 議員

いっぱい質問

質 山田町政3期目の方針を問う

答 第4次行革大綱、集中改革プランを着実に実行していく

質問

山田町政3期目の方針の中で次のことを聞く。

1. 合併のこれからの具体的な取り組み。

2. 行財政改革の方針。

3. 「地域の力発揮事業」など、住民自らが行う事業となるよう支援の方向づけはどう考えているか。

答弁 町長

1. 今後とも合併を追求していく基本姿勢は堅持していきたい。

再質問

2. 第4次の行革大綱、集中改革プランを着実に実行していくことが私に課せられた大きな任務である。
3. 行革大綱の中で方向づけをしており、協働のまちづくりを展開をしていきながら、将来に向けて行政と住民の役割分担を含めて、地域の活動が出来るのか補助金制度のあり方も含めて検討していきたいと考えている。

再答弁 町長

1. 県が示している構想を土台に、町民の皆様との懇談会を考えている。

再々質問

2. 政策決定を推進していく原動力として副町長が対応していくのがあるべき姿だと思ってる。
3. 企画課まちづくり班を中心に情報提供をしつかりやっていきたい。

再々答弁

1. 決意を示して欲しい
2. 広域での取り組みが増える中、交渉力を発揮できる副町長の設置は。

再々再質問

1. 県の基本構想を十分念頭に置いてこの圏域の熟度等考慮して21年度の新法の期限を目安として再構築に向けて努力していきたい。
2. 副町長の問題については、指摘も踏まえて検討していきたい。

質問

質 わかりやすい予算説明書を前向きに検討する

答弁 町長

住民自治とは住民が自主的にまちづくりに参加することだ。町の様々な情報なくしては何をして良いか解からない。重要な情報源である予算の説明書を住民向けにつくれないか。

再答弁 町長

いる自治体は、昨年度で280あった。自治省も地方自治法に規定がなく口出しはしないとされている。その考えはないか。

再質問

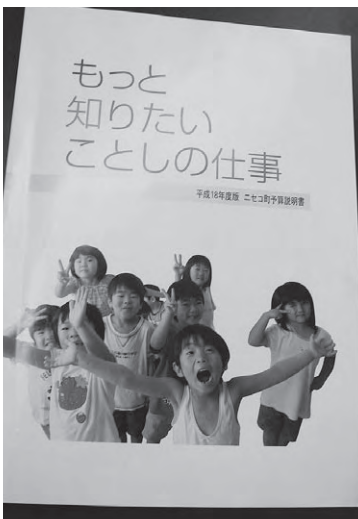
予算書については、自治法の規定に基づいて様式が決まっている。

再々質問

有料広告を進めてはどうかとの提案、提言であるが、有料広告制度の導入について、現在行革本部の中で話を進めている段階であり大いに参考にさせていただく。

再々再答弁 町長

具体的な数字を見ることで町の未来像が描ける。住民参加のまちづくりのため、その気になれるような説明書はどうか。
再々再答弁 町長
予算説明書は大変大事だと思ってる。どういうものが一番いいか検討していきたい。



わかりやすい予算説明書



山名喬二 議員

質 いじめ・不登校の現状と対策を問う

答 少数であるがいじめはある

質問

最近「いじめ」が要因と思われる児童・生徒の自殺者が急増している。次の4点を問う。

- 1. 小・中学校において「いじめ」の事案があるか。
2. 校内における「いじめ」対策及び教育委員会の指導状況について。
3. 政府直属の教育再生会議が提示した「いじめ問題への緊急提言」の8項目に対する対応策について。
4. 不登校児童・生徒の現状及び改善状況は。

答弁

教育長

- 1. 4月以降のいじめ発生件数は12月7日現在、小学校で4件、中学校で2件の報告を受けている。
2. 本町においては、心の相談員、親と子の相談員、生徒指導支援補助員を現在配置している。

る。これはいじめの問題だけでなく、種々のことに対応するものである。

- 3. 教育再生会議における提言には8項目あり、細かなマニュアルが作成されており、学校の職員会議で徹底するようになっている。
4. 平成15年22名、平成16年14名、平成18年度は3名であり、改善の跡が見られる。

再質問

- 1. 町独自で「いじめ」認定基準は定めているか。

2. 「いじめ」に負けない強い子を育てる対策は講じているか。

- 3. 米国で実施され、効果があるとされる「ゼロトランス」の手法についての所見。

再答弁

教育長

- 1. 平生町独自の基準は設けていない。

- 2. 国の指導要領の大きなテーマとして、激動する社会の変化に対応できる強い子、生きる力をそなえた子の育成が目標となっている。
3. ゼロトランスの考え方は、学校における先生、生徒の関係を横でなく縦だという考えが根本にある。この方法が日本の今の教育に当てはめるかどうか、教育基本法の改正も含めて注視していきたい。

質

町民に対する新たな公約的施政方針があるか

答

現状の施策を継続して進める

質問

今度、連続無投票再選により新しい任期4年がスタートしたが、新たな政策・計画など、町民に対する公約的なものがあるか。

答弁

町長

3期目の町政に向けて新たな公約については当然継続をして町政を進めていくこととなるが、基本の1つは、広域合併の問題について、県の構想をベースに21年度までに方向づけをしていく。2つ目は、行財政改革、第4次行革大綱の集中改革プランを21年度までに具体的な成果が上がるように取り組む。3つ目には、安全・安心のまちづくりとして、地域の力を活用しながら情報通信基盤の整備、介護予防の重点的な取り組みなど、施策の展開をはかっていきたい。

再質問

新たな施策を期待したが、従来からの施策の継承との答弁であった。

安全・安心・元気なまちづくりを進めるには、財政基盤の確立が前提である。

阿多田島開発には田名埠頭を含め、町独自の資金が10億円近く投資されていることから、早急にアクションを起こす必要があるが、現状はどうか。

再答弁

町長

自主財源の確保については、行財政改革をしっかりとやって歳入歳出のバランスを図り、入りをはかって出るを制することが基本である。阿多田の関係は県の企業立地推進室とも連携を取りながら進めていきたい。問題は、土地が国有地であり、町道の整備、企業団地の整備、対応する財政状況の絡みで未着の状況になっている。



渕上正博 議員

質問

全国の学校で、いじめによる自殺が連続して起こっている。いじめ克服の取り組みを妨げているものは何か、いじめの温床はどこにあるかを考える必要があると思う。

1. いじめの件数が多いか少ないかで学校と教師を評価するシステムが教育現場に押しつけられ、いじめの実態が隠されるという問題。

2. 子ども達を絶えず競争に追いたて、いわゆる「できる子」「できない子」にふるいわける競争主義と序列主義

質 児童生徒のいじめ問題は

答 家庭と学校の信頼関係を進める

が子ども達の心を傷つけストレスとなり、そのはけ口をいじめに求める、このように考えられるが教育委員会としてのいじめ根絶の対策は。

答弁 教育長

1. 平生町においては、いじめの件数によって学校や教師を評価することは、断じてないと理解している。いじめの件数よりも、いじめをどう解決したかに評価の重点をおきたいと思っている。今後もしいじめの問題については指導していく。

2. いろんな能力、学力、体力をつける面で、子どもたち同士が互いにライバルとして競い合う事も学校教育の中には必要である。

教師は常に鋭いアンテナを張ることが第一で、子どもたち、家庭と学校との信頼関係を推し進めて行く必要があると考えている。



サービス向上が求められる保育園

質 保育園児への施策は
答 実情を調べたい

質問

日本共産党平生支部は、平生町民の方々に住民アンケートを実施した。

子育ての中では、保育園に関する回答が42%と一番多く返信されてきている。

意見欄の中には、「保育料の軽減対策をぜひ検討してほしい。」「若い親が安心して働けるように保育時間を延長してほしい。」

い。」という、若い夫婦の切実な声がかかれてくる。

少子化対策の一環として、前向きな検討をされるべきだと思う。また、保護者に対して意見把握のための具体的なアンケートを実施したらどうか。

答弁 町長

保育料については、平成17年度から保育料負担軽減策を実施しており、

国の基準値に比べ8割ぐらのレベルに引き下げている。階層区分も従来の8区分から12区分に細分化して軽減化に努めているが、国の動向も十分踏まえ、徴収基準なども参考にして対策を講じた。

延長保育の利用実態は、平生保育園は、午前7時半から午後6時半までの11時間保育で、午後6時から6時半が10名。つばさ保育園は、午前7時から午後7時までで、午後7時までの利用者は1名であり、実際はほとんど午後6時となっている。宇佐木、佐賀はゼロであり、こうした利用実態から、当面は今の保育時間の体制でいきたい。

子どもを預ける親の立場、預けられる子どもの立場を十分考えながら、社会全体の問題として考える時期に来ていると思っている。

アンケート調査については、平成16年、18年1月に実施している。一定の時期をみてみなさんの要望、意向を把握するよう努力したい。



藤村政嗣 議員

平成19年度の予算編成方針は
歳入と歳出を一体的に改革

質問

1. 平成19年度の予算編成方針として、各主管課長にどういうメッセージで指示をされたか。
2. 市町村合併を具体的にどう進めて行くのか。

答弁

町長

1. 19年度の考え方として18年度当初予算をベースにして、継続的施策の経費については9割を一般財源措置の上限としている。
新規の要望として、既存の事務事業の整理を前提に、職員に新しい要望を求めている段階である。

2. 3町が連携して対応している状況づくりとして、3町間の町長会などで取り組む。

再質問

1. 歳入対策として新しい制度を検討する必要

があると思うが、自主財源確保の取り組みを問う。

2. 合併問題は、熊毛郡3町が連携を言われたが山口県市町合併支援プランの期限平成21年度までにどう取り組むのか。

再答弁

町長

1. 5つの検討チームで検討している。

1つは、手数料使用料関係、2つ目は都市計画税も含めた税関係、3つ目は税収確保、4つ目が財産処分の検討、5つ目が特別歳入である。

こうした取り組みを含め予算を調整しなければならぬと考えている。

2. 21年度までの合併新法の期限を念頭においているが、今、この地域の状況を踏まえるならば、合併協議をすることが難しいとして

も、一つの方向づけになればということ、熊毛郡の町長会（田布施、上関、平生）を通じて、お互いに連携を十分とって対応することが大事と考えている。

再々質問

財源対策として、対前年度の90%に減ずる説明があったが、財政担当課長として、どのように考えているのか。

再々答弁

総務課長

中期財見通しで平成19年度の財源不足額が3億3000万円の見通しとして挙げている。

歳入確保としても、一朝一夕に1億円、2億円と歳入の確保ができるものではなく、小さな金額の積み重ねが必要である。現状の収納についても、

現状の収納についても、収納率を上げていきながら歳入を確保していく。19年度予算を構築していく上でもかなり厳しくきり込んだ査定が想定される。

阿多田島地区開発の取り組みについて
精力的に取り組を進めたい

質問

先般、海王丸が寄港し、多くの方がこの地域を見て認識が高まっています。

答弁

町長

1. 国有地を購入するには財源の問題、企業団地にしても部分的でなく一度で対応ができる形を考えているが、町の財政状況、あるいは企業の動向など十分見据えて対処したい。

2. 話が具体的に前に進んでいないのが現状である。国、県とも連携をとりながら、取り組みを進めていきたいと考えている。



28,000人が集まった海王丸寄港

研修報告



熊毛郡議会広報連絡協議会の研修会

平成18年10月10日に上関町中央公民館にて議会広報の研修会が開かれ、郡内の上関町・田布施町・平生町の広報委員18人が集まり、広報紙づくりについて研修を行い交流を図りました。

今回は全国コンクールで入賞した議会だよりや3町の議会だよりをそれぞれがチェックしました。

表紙や記事の写真の扱い、記事の内容などについて詳細に検討しながら時には議論、時には笑いを交えつつの研修でした。

町民に読んでもらえる広報紙づくりの苦労話もしながら、これからもより良い広報紙づくりに向け努力していこうと話合いました。

投稿コーナー

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと何でも結構です。

字数 400字以内
締切日 平成19年3月30日
提出先 平生町役場議会事務局
議会広報担当者係

紙面の都合で一部変更することもあります、ご了承ください。
掲載文には薄謝を差しあげます。

経費節減にシルバーの力を生かせ

二〇〇七年から「団塊の世代」が定年退職を迎え、六〇歳以上のシルバー世代が増加し、今後益々高齢化社会が拡大していきます。

このような中、町が負担金を拠出し運営されている柳井広域シルバー人材センターを活用しようではありませんか。

各地のセンターでは、六〇歳以上の健康で働く意欲のある者が会員となり、長年培ってきた経験、知識、技能を生かし、働くことにより生きがいを探求し、又地域社会に貢献しようとする公益団体と聞いています。センターでは、清掃・除草・草刈・包装等の屋内外の作業、

他市町村では一般家庭を始め、企業や市町村の公共施設管理等に多く活用され、経費節減に効果を挙げているようです。

ぜひ、町内の増加するシルバーの活力を町内企業や公共施設・道路などの維持運営管理に活用できないか、現状の見直しを実施して、企業や町の経費削減に大いに貢献できると考えられます。関係者の検討を提案します。

曾根長尾 吉野達成

議会の動き

(H18・9/14・18・12/14)

- 平成18年9月14日↓26日 第4回定例議会
- 9月15日 議会広報広聴調査特別委員会
- 9月26日 議会全員協議会
- 9月27日 平成18年第3回熊南環境衛生組合議会
- 10月2日 議会広報広聴調査特別委員会
- 10月3日 議会実務研修会
- 10月4日 議会広報研修会
- 10月10日 産業厚生常任委員会
- 10月12日 郡議会広報連絡協議会研修会
- 10月19日 議会広報広聴調査特別委員会
- 10月23日 議会広報広聴調査特別委員会
- 10月24日 第5回臨時議会
- 11月24日 議会全員協議会
- 11月27日 産業厚生常任委員会
- 11月28日 柳井地区広域消防組合議会全員協議会
- 11月28日 総務文教常任委員会
- 12月4日 柳井地区広域事務組合議会第2回定例会
- 12月4日 議会運営委員会
- 12月5日 平成18年第3回田布施・平生水道企業団議会
- 12月6日 議会全員協議会

編集後記

▼新年あけましておめでとうございます。
元旦は、澄み切った瀬戸内海から初日の出を見ることができました。
今年一年希望の持てる良い年であってほしいものです。

▼平成18年を象徴する漢字に「命」が選ばれました。昨年は児童、生徒たちのいじめによる自殺など痛ましい事件が大きな社会現象となり、命の重み、大切さを痛感した年でした。

▼今年は選挙の年でもあります。平生町では4月に県議会・町議会議員選挙、7月には参議院選挙と続きます。

住民の生活と安全のためよく考え投票をしようではありませんか。

▼議会広報委員一同、町民の皆さんに喜んで読んでいただけるような議会だよりを作っていきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

委員長 洲上正博